

栃木県版 第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」

とちぎ創生15戦略(第2期)

～ とちぎの未来を創る15の戦略 ～

人口減少問題の克服と将来にわたる地域の活力の維持を目指します



2020 - 2024
栃木県

I 人口ビジョン

～「2060年を見据えた栃木県の姿」～

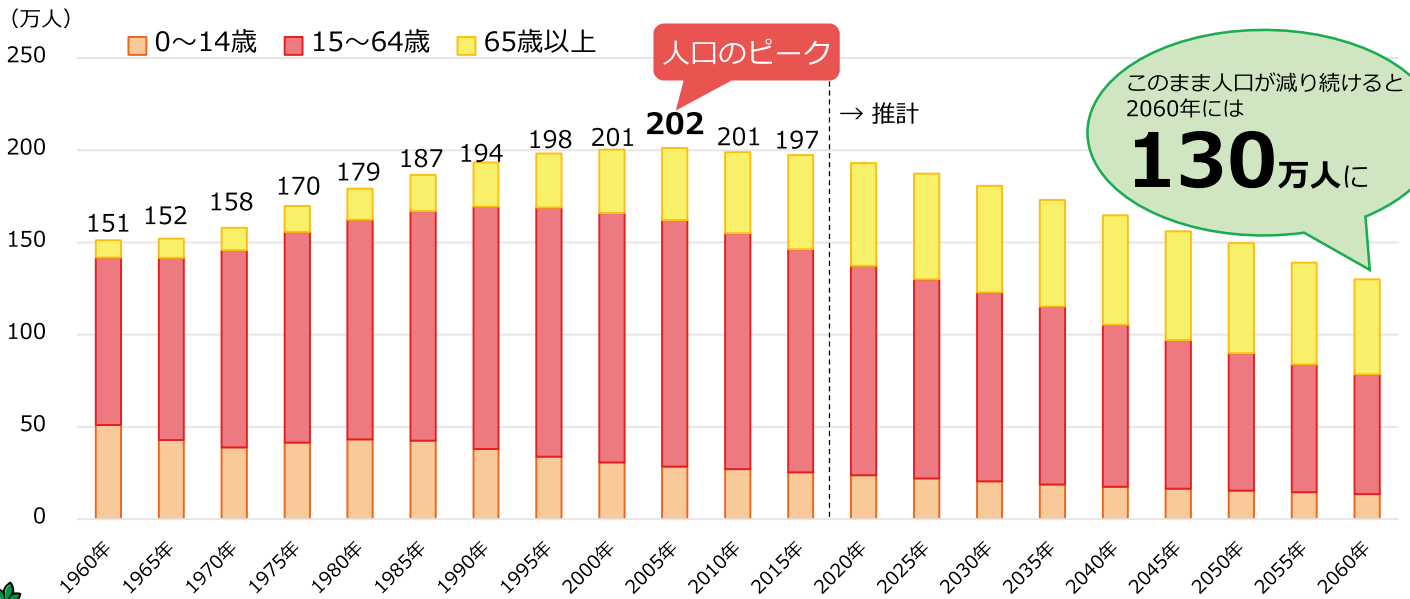


栃木県の人口の“これまで”と“これから”は？

人口減少と高齢化の進行

- 人口は、2005年をピークに減り続け、2019年には194万人となっています。
- このままのペースで人口減少が続くと、2060年には130万人まで減少すると予想されます。
- 高齢化も進行し、65歳以上の人口比率は、2060年には39.7%になる見込みです（2015年：25.9%）。

【栃木県の総人口と年代別人口の推移】

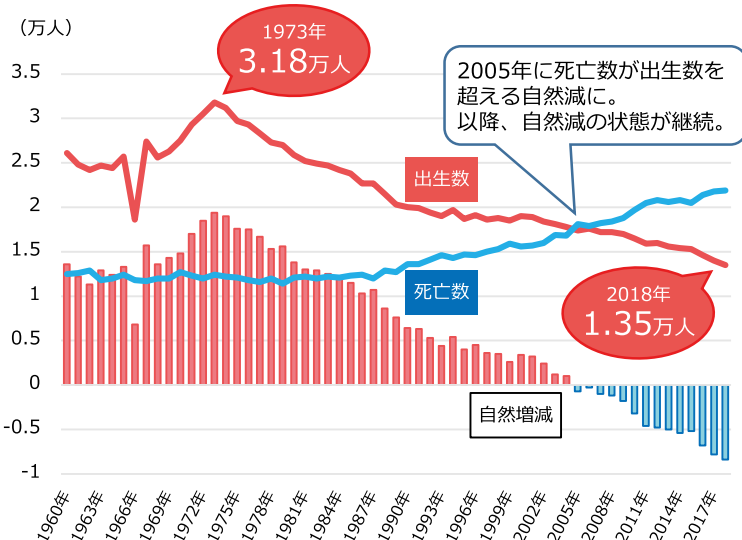


なぜ人口が減っているの？

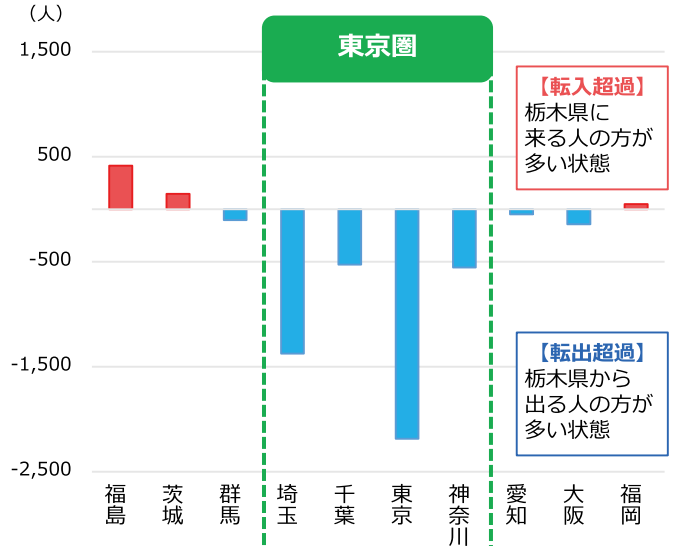
出生数の減少と転出超過

- 出生数は1973年以降、減少傾向で、2018年には1.35万人となっています。
- 東京圏を中心に、2019年の1年間で3,518人の転出超過となっています。
- 転出超過は、特に20代前半を中心に若い世代で顕著となっています。

【栃木県の出生数及び死亡数の推移】



【栃木県と主な都府県間の転入－転出の差 (2019年:日本人)】





人口減少、少子高齢化の影響は幅広い分野に



生活への影響

- ・ 店舗等の撤退や地域公共交通の衰退による日常生活の利便性低下
- ・ 自治会や消防団の活動など地域コミュニティ機能の低下

など



子育て・教育への影響

- ・ 集団活動や地域との活動の減少による、コミュニケーション能力を育む機会や多様な考え方に触れる機会の減少
- ・ 学校の統廃合やそれに伴う通学負担の増加

など



医療・福祉への影響

- ・ 社会保障費の増大
- ・ 医療・福祉・介護人材の不足
- ・ 医療施設の撤退に伴う受診機会の減少や通院時間の増加

など



産業への影響

- ・ 労働力不足や生産活動の低下
- ・ 後継者不足による事業承継の困難化
- ・ 担い手不足による耕作放棄地の増加や森林の荒廃

など



人口の将来展望と目指す方向

合計特殊出生率の向上

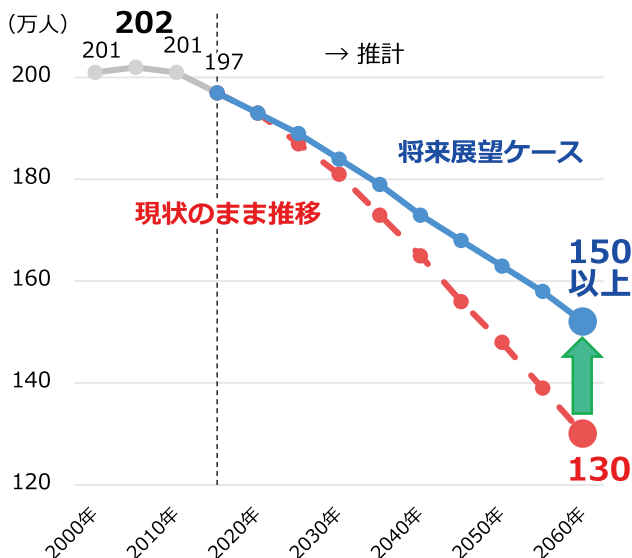
基準値 (2018年)	2045年
1.44	2.07*

※人口規模が長期的に維持される出生率

転出超過の解消

基準値 (2019年)	2030年
▲3,518人	±0

2060年に150万人以上を確保



【将来展望の実現に向けた施策の方向性】



15の戦略で人口減少を緩やかに

将来のとちぎを支える若い世代の育成と定着促進

移住・定住の促進

結婚、妊娠・出産、子育ての希望の実現

Ⅱ 総合戦略

～「まち・ひと・しごと創生への取組」～



第2期戦略の推進に向けて

第2期戦略における **新たな視点**

- 🍓 グローバル市場の活力を取り込みます。
- 🍓 「関係人口」の創出・拡大に取り組みます。
- 🍓 **ESD** エスディーエス **S D G s** (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) の達成に向け施策を推進します。
- 🍓 高等学校と地域の連携・協働による人材育成を推進します。
- 🍓 未来技術の活用を推進します。

TOPICS : 関係人口

「関係人口」とは、特定の地域と継続的に関わる人々のことをいいます。「関係人口」は将来的な移住にもつながることが期待されています。



TOPICS : S D G s

「S D G s」とは、「誰一人として取り残さない」社会の実現を目指すことを理念とし、2015年の国連サミットで採択された、先進国も発展途上国も取り組む17の国際目標です。



基本目標1 とちぎに魅力あるしごとをつくる

【目指すとしぎの姿】

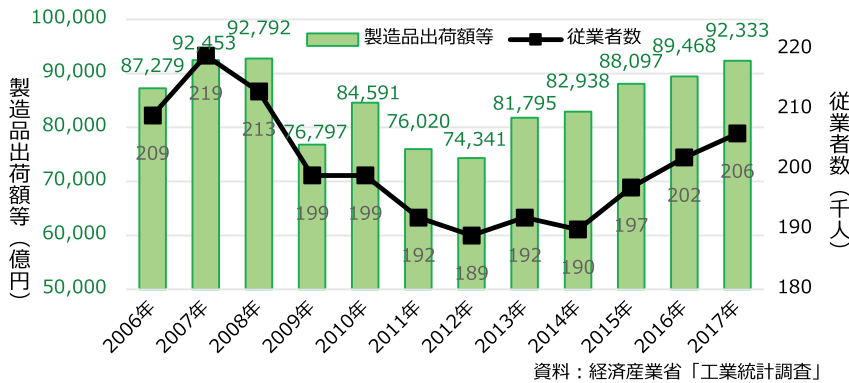
地域の産業が成長し、
多彩な企業が集積する
元気で豊かな
とちぎ



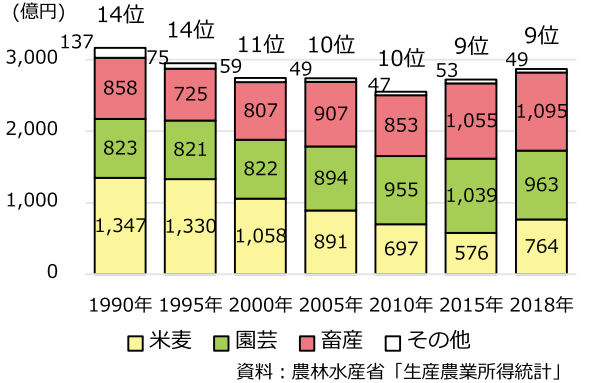
【成果指標】

指標名	現状値	目標値
県民所得 (県民1人当たり)	全国 3 位 (2016年)	全国 3 位以上 (2022年)

【栃木県の製造品出荷額等・従業者数の推移】



【栃木県の農業産出額及び全国順位の推移】



戦略体系

戦略1 ものづくり県の更なる発展と次世代産業の創出

- ものづくり産業の発展支援
- サービス産業等中小・小規模企業の発展支援
- 次世代産業の創出・育成
- 産業人材の確保・育成

戦略2 成長産業へ進化する農業の確立

- 園芸生産の戦略的拡大
- 農産物のブランド力強化
- 国際化に対応した農業経営の確立
- 次代を担う人材の確保・育成

戦略3 林業・木材産業の成長産業化

- とちぎ材の安定供給体制の構築
- 森林被害対策の推進
- とちぎ材の新たな需要の創出
- 森林資源のフル活用推進

戦略4 戦略的な観光誘客

- 選ばれる観光地づくりの推進
- 観光客受入態勢の整備
- 国内観光客の誘客強化

戦略5 海外から選ばれるとちぎの創生

- 外国人観光客の誘客強化
- 海外展開の支援
- 農産物の輸出促進

基本目標2 とちぎへの新しいひとの流れをつくる

【目指すとちぎの姿】

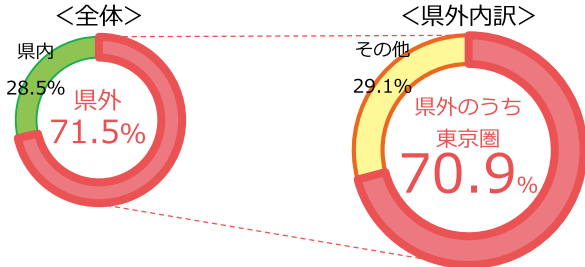
住み続けたい、帰りたい、
住んでみたいと思える
とちぎ



【成果指標】

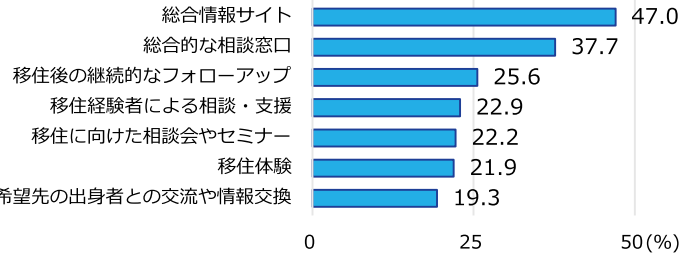
指標名	現状値	目標値
都道府県間人口移動数(日本人)	▲3,518人 (2019年)	▲1,759人 (2024年)

【県内高校生の進学先】



資料：文部科学省「学校基本調査」

【地方への移住意向者が行政に期待する支援】



資料：栃木県「今後の暮らし方に関するアンケート」

戦略体系

戦略6 地域を支える若者の育成と定着促進

- とちぎへの愛着や誇りの醸成
- 高等学校における地域等との連携・協働による人材育成の推進
- 本県の魅力発信や大学等の魅力向上を通じた若者の地元定着促進

戦略7 立地環境を生かした企業誘致の推進

- 企業誘致の推進
- 企業の定着促進

戦略8 とちぎへのひとの流れの創出

- 移住・定住の促進
- 「関係人口」の創出・拡大
- とちぎのブランド力の向上

基本目標3 とちぎで結婚、妊娠・出産、子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる

【目指すとちぎの姿】

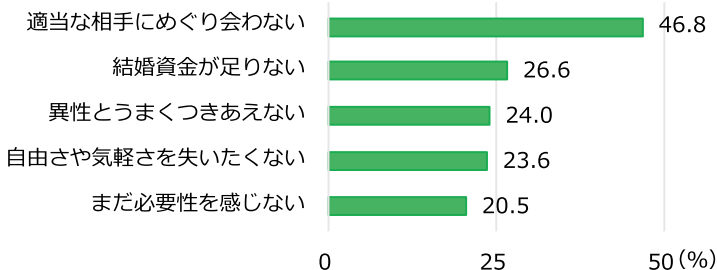
多様なライフスタイルが選択でき、
安心して子育てができる
とちぎ



【成果指標】

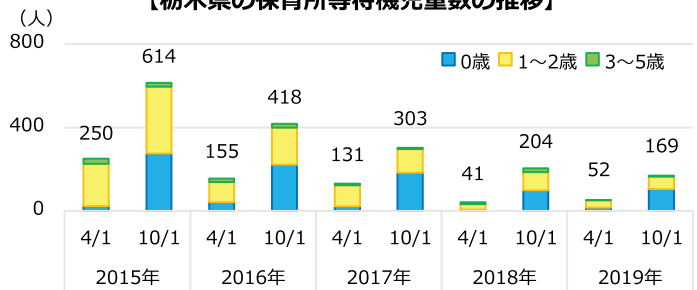
指標名	現状値	目標値
合計特殊出生率	1.44 (2018年)	1.59 (2024年)

【結婚意思はあるが独身でいる理由】



資料：国立社会保障・人口問題研究所「第15回出生動向意識調査」

【栃木県の保育所等待機児童数の推移】



資料：厚生労働省「保育所等利用待機児童数調査」

戦略体系

戦略9 結婚支援の充実

- 結婚を前向きにとらえる意識の醸成
- 若い世代への出会いの機会の提供

戦略10 妊娠・出産、子育ての切れ目ない支援

- 妊娠・出産支援の充実
- 保育サービスの充実
- 地域における子ども・子育て支援の充実

戦略11 多様な人材が活躍できる環境づくり

- 多様で柔軟な働き方とワーク・ライフ・バランスの推進
- 女性・高齢者・障害者等の活躍推進
- 外国人材の活躍推進

基本目標 4 とちぎに安心して住み続けたい地域をつくる

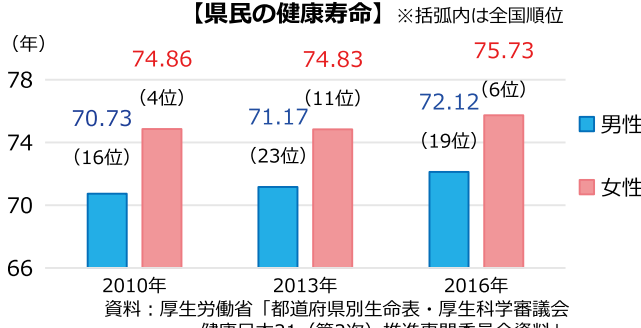
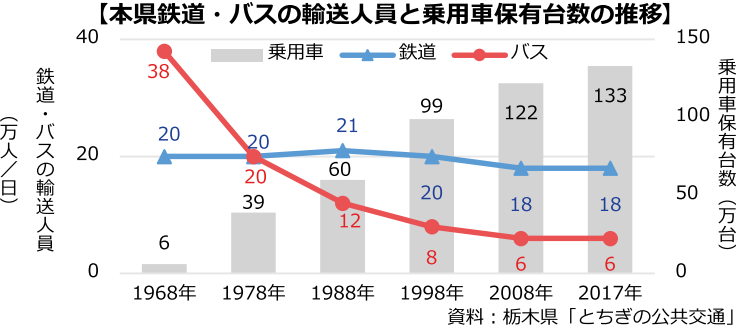
【目指すとちぎの姿】

地域の活力が高まり、
快適さ・暮らしやすさを
誰もが実感できる
とちぎ



【成果指標】

指標名	現状値	目標値
住んでいる地域に これからも住み続けたいと 思う県民の割合	76.0% (2019年)	上昇を目指す (2024年)



戦略体系

- 戦略12 暮らしやすいとちぎの「まち」づくり**
 - コンパクトな拠点の形成
 - スポーツ・文化など地域の魅力や資源を生かしたまちづくり
 - 公共交通ネットワークの確保・充実
 - 地域連携の促進
- 戦略13 健康長寿とちぎづくりの推進**
 - 健康づくりに資する社会環境づくり
 - 疾病の早期発見・早期治療
- 戦略14 地域包括ケアシステムの推進**
 - 介護予防・日常生活支援の推進
 - 在宅医療・介護連携の推進
 - 介護基盤の整備と人材の育成・確保

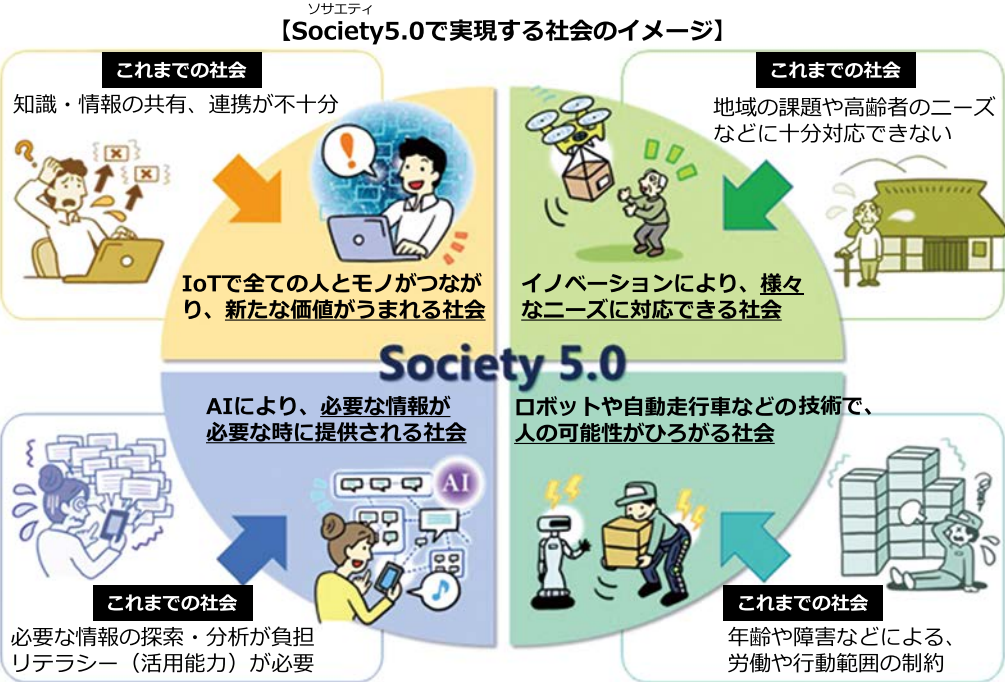
横断的指標 未来技術をとちぎの新たな力にする

【成果指標】

指標名	現状値	目標値
未来技術の活用による 地域課題の解決・改善事例数	—	10件 (2020～ 2024年累計)

戦略体系

- 戦略15 未来技術を活用したとちぎづくり**
 - 未来技術の積極的な活用に向けた環境づくり
 - 実用化への支援
 - デジタル人材の育成・確保



TOPICS : Society5.0

「Society5.0」とは、人工知能（AI）、IoT、ロボット、ビッグデータ等の未来技術をあらゆる産業や社会生活に取り入れ、経済発展と地域課題の解決を両立する社会のことをいいます。

【発行】
栃木県総合政策部総合政策課
宇都宮市埴田1-1-20
TEL 028-623-2206